

# 平成27年度 新潟市体育部 活動報告

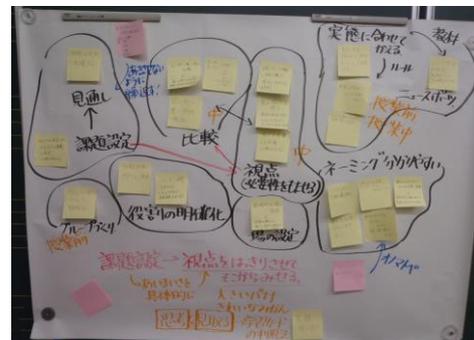
部長 本間 直樹

## 1 研究主題

「できて・わかる」体育授業を目指して（1年次）  
～みんなでかかわりながら、思考する授業づくり～

## 2 研究の実際

- (1) 6月 全体研修「新研究計画」の説明 と 質疑応答
- (2) 7月「みんなをかかわらせながら、思考を促す手立てについて」のファシリテーション
- (3) 8月「教育課程」研修 と 指導案検討



- (4) 9月 授業研究

### 【北・東ブロック】

5年生 器械運動（マット運動）開脚前転 江南小学校 浅野 茂 教諭

### 【中央ブロック】

6年生 ボール運動（ゴール型）フラッグフットボール 有明台小学校 桜井 朝之 教諭

### 【江南・秋葉・南ブロック】

6年生 器械運動（マット運動）側方倒立回転 東曽野木小学校 和田 哲哉 教諭

### 【西・西蒲ブロック】

5年生 ボール運動（ゴール型）ハンドボール 青山小学校 熊野 昌彦 教諭

- (5) 11月「みんなをかかわらせながら、思考を促す手立てについて」実践レポート報告会
- (6) 12月 4つのブロックの研修のまとめ発表と意見交流
- (7) 1月「講演会」と 27年度の研究成果と課題の伝達

### 【講師】

沼垂小学校	渡辺 三郎	校長先生
小針小学校	浜田 尚	校長先生
青山小学校	藤巻 隆二	校長先生



## 4 成果と課題

### 【成果】

- 「わかる」と「できる」をつなぐために必要な「かかわり」や「思考」の促し方を意識した授業を積み重ねることができた。
- 上述の授業を分析することにより、授業者や会員がこれまで無意識に子どもたちに講じていた「かかわり」や「思考」の手立てについて明文化することができた。
- 会員が、「わかる」と「できる」をつなぐために必要な「かかわり」や「思考」を盛り込んだ授業を実践し、レポートにまとめて持ち寄り報告し合ったことにより、多くの手立てについて情報交換することができた。

### 【課題】

- 日常の授業実践を通して会員より、「かかわり」や「思考」を盛り込んだ授業を構成する際、必ず二つを意識すべきなのかどちらか一つでよいのか、またどちらが先に位置づけられるのかなどの疑問が寄せられた。
- 研究主題を更新して1年目であったため、言葉の定義や研究部の計画や考えを全会員に周知するまでに至らなかった。